

# いつまでも輝き続けるまち 「はつらつ長瀬」 地域まちづくり計画

令和8年3月  
長瀬町



## 取組の概要

### まちづくりにおける課題

本町は現在約6,300人(令和7年4月)の方が暮らしているが、第2期長瀨町人口ビジョンによる推計では、将来的に人口は減少し続け、2040年には約5,000人、2060年には約3,500人に減少する見込みである。

このような中、地域活力やコミュニティの維持・存続、公共施設の維持管理や規模・配置の適正化、大規模災害への備え、交通弱者への配慮、オーバーツーリズム対策等の課題がある。

### まちづくりの方向性

本町では、“人も社会も自然もすべてが健康で、はつらつとしている長瀨をつくろう”という「はつらつ長瀨」を実現することを基本理念に掲げ、各施策を積極的に展開している。

各施策を通して、持続可能なまちづくりを実現するため、地形的制約により集落がコンパクトにまとまった特徴や県内有数の観光地であることを生かし、観光客などの交流人口・関係人口を巻き込みつつ、町民一人ひとりがいつまでも輝きつづけるまちを目指す。

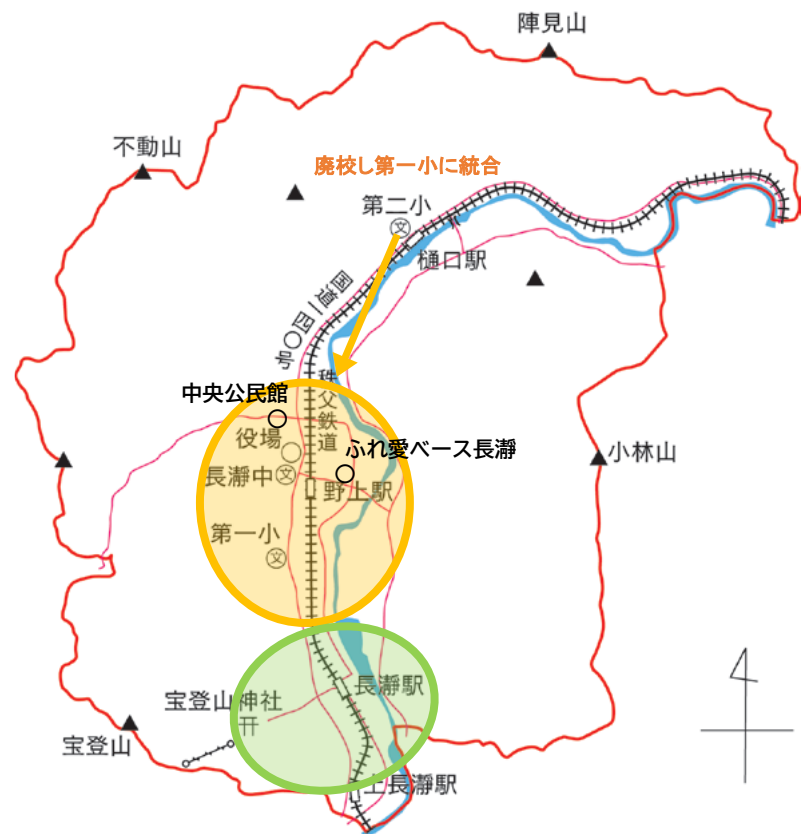
### 他の計画における位置付け

- ・はつらつ長瀨プラン(第5次長瀨町総合振興計画、第2期長瀨町人口ビジョン、第2期長瀨町まち・ひと・しごと創生総合戦略)
- ・長瀨町地域公共交通計画
- ・長瀨町公共施設等総合管理計画
- ・長瀨町過疎地域持続的発展計画

### 対象地域及び区域

町全域

### 地図



- … 地域生活拠点エリア
- … 観光拠点エリア

## 地域の現況

### 人口・世帯の状況

本町全域の人口は、令和7年10月1日現在で6,259人、世帯数は2,854世帯で、1世帯人員は2.2人である。

人口推移は、昭和63年の9,138人をピークに減少しており、令和2年の国勢調査では6,807人まで落ち込み、国立社会保障・人口問題研究所による推計では、令和42年には総人口が3,493人となる見込みである。

人口構成を3階層別人口で見ると、平成29年以降、年少人口(14歳以下)及び生産年齢人口(15～64歳)が減少する一方、老年人口(65歳以上)が増加し、少子高齢化が進んでいる。

世帯数は、核家族化などにより概ね2,900世帯で推移している。

### 開発の状況

町全域が令和4年度より過疎地域に指定されている一方で、年間300万人の観光客が訪れる町となっている。

また、都市計画の区域外であるため用途地域等の定めがなく、建ぺい率や容積率等の都市計画に基づく規制は適用されていない。

町内の農業は小規模な兼業農家が点在している。また、北部には農村地域工業等導入地区に指定された地域があり、この地域を中心に立地する企業や町工場などが町内の雇用を支えている状況である。

また、長瀬地区では観光業を中心とした個人商店が多数営業している。

### 地域交通の状況

現在、本町の公共交通は秩父鉄道のみという状況である。町内には4駅あり、普通列車が概ね1時間に2本(ピーク時は3本)運行されている。

そのうち、長瀬駅を除く3駅は窓口業務を終了しており、駅係員が各駅を定期的に巡回・サポートを行っている状況である。

令和3年3月には長瀬町地域公共交通計画を策定し、『誰もが気軽に移動できる交通環境の実現』を基本方針とした。

この計画では、後期高齢者で運転免許証を自主返納した方など、いわゆる交通弱者の方々を対象の中心に据えて、『後期高齢者などを主とした町民の移動手段確保』と『後期高齢者などを主とした町民の公共交通の利用促進』を目標としている。

### 地域資源

本町は、埼玉県の北西部、秩父山系の関門に位置し、町の中央を縦貫して流れる荒川の両岸に細長く開けた町である。また、全域が県立長瀬玉淀自然公園区域に指定されており、特に旧親鼻橋から旧高砂橋に至るまでの荒川の両岸は、国指定名勝及び天然記念物保存区域として指定されている。

観光業が基幹産業の1つとなっており、特に、町の観光の中心である岩畳や宝登山への玄関口である長瀬駅周辺の観光業が活発である。

また、豊かな自然を活かして川下り、登山や釣り、キャンプ、ラフティングなどのアクティビティが楽しめ、さらに歴史的な文化遺産も多数あり、関東有数の観光地となっている。

# まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

## まちづくりのコンセプト

本町の課題は、人口減少とそれに伴う地域の活力低下である。この課題に対応するため、町有施設や遊休資産等を活用し、地域内外の交流を促す活気あるまちづくりに取り組む。

また、デジタル技術の導入により、円滑な地域周遊の実現や住民ニーズへの対応にも取り組んでいく。

加えて、町内にはバスなどの公共交通機関がないことから、それに替わる福祉有償運送、長瀬町商工会の「元気と安心お助け隊」による高齢者等の移動支援を行うとともに、ウエルシア薬局株式会社が運営する移動販売車「うえたん号」が町内約40カ所を巡回し、近隣住民との交流機会を増やすための「通いの場づくり」支援、高齢者等の見守り活動、買い物支援を行っていく。

この「通いの場づくり」の進展がまちづくりにおいて重要であることから、家から出て、他人・知人・友人と交流できる場を創出していく。

## 推進体制

### (1)長瀬町総合振興計画審議会委員

長瀬町、町民、町議会、農林業、観光業、商工業、社会福祉関係、教育並びに文化一般、大学院

### (2)長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証委員会

長瀬町、町民、町議会、観光業、商工業、銀行、鉄道、大学院

### (3)長瀬町地域公共交通会議

長瀬町、交通事業者、道路管理者、交通管理者、町民、学識経験者

## 事業全体の概要

### 【コンパクト】地域交流拠点を活用した地域コミュニティの充実

- ・地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀬の運営及び子どもの居場所づくり
- ・官民連携による空き家・市民農園を活用した農泊・農業体験を通じた関係人口と町民との交流のための地域拠点整備
- ・官民連携による移動販売車を核とした交通弱者への買い物支援及び地域交流の場の創出
- ・公有地の活用による地域の活性化

### 【スマート】デジタル技術を活用した地域課題の解決

- ・官民連携による移動販売車を活用したオンライン健康相談
- ・QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現
- ・庁舎内でのキャッシュレス対応の実現

### 【レジリエント】災害時にも強い「持続可能な」まちづくり

- ・太陽光発電等による非常時における電源の確保
- ・EV充電器や太陽光発電の整備によるGXの推進
- ・官民連携による移動販売車を核とした「通いの場」の創出
- ・災害時でも安心して通行できる町道の確保

# 計画図

## 地域生活拠点エリア

主要な公共施設、スーパーマーケット・ドラッグストアなどの店舗、病院が集中しているエリア

### コンパクト

地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀨の運営



### レジリエント

太陽光発電等による非常時における電源の確保



## 町全域

### コンパクト

### スマート

### レジリエント

官民連携による移動販売車を核としたオンライン健康相談や地域交流の場の創出



## 観光拠点エリア

観光名所である岩畳や宝登山神社があり、多くの観光客が訪れるエリア

### コンパクト

空き家・市民農園を活用した農泊農業体験  
関係人口と町民との交流のための地域拠点整備  
公有地の活用による地域の活性化



### スマート

QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現  
キャッシュレス対応した行政手続きの実現

### レジリエント

EV充電器の設置によるGXの推進  
町道整備の推進



# 【コンパクト】事業一覧

事業名	実施主体	事業内容	スケジュール					備考	
			R7	R8	R9	R10	R11		R12以降
多世代ふれ愛ベース長瀬の改修	町 民間事業者	多世代ふれ愛ベース長瀬の改修により、施設内に相談スペースや遊び場を整備することで、地域の子どもたちから高齢者までがふれあい、交流できる場を創出する。	庁内検討				計画設計	施設整備	
町内の空き家の活用	町 民間事業者	町内の空き家を整備・活用し、関係人口と町民との交流を促進する地域拠点の整備を推進する。	庁内検討			計画設計	施設整備	活用	
市民農園の整備	町	町内外の人々が利用可能な市民農園の整備を推進し、農業体験を通じた地域のにぎわいの創出に取り組む。	庁内検討	整備		運用			
移動販売車による買い物支援及び地域交流の場の創出	町 民間事業者	移動販売車の運行や車両購入等に伴う補助を行い、移動販売による買い物支援及び地域交流の場の創出を図る。	移動販売車の運行			庁内検討	購入等補助	運行	埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金を活用予定
駐車場活用事業	町 民間事業者	長瀬駅周辺に整備する駐車場を活用し、町内外の人々が集う環境を整え、地域の活性化を図る。	駐車場整備		庁内検討			活用	埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金を活用予定





# KPI

コンセプト	指標	基準値(調査時点)	目標値(達成年度)	備考
全体共通	住みよさ意識(全体)(%) (令和3年度町民アンケート:「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計割合)	45.9 (令和3年度)	50.0 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
コンパクトレジリエント	外出を楽しんでいる高齢者の割合(%)	51 (令和2年度)	61 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
コンパクト	若者を中心とした新たな交流拠点数(累計:施設)	—	2 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
コンパクト	空き家バンク登録数(累計:件)	33 (令和2年度)	53 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
コンパクト	子育て支援事業等利用者数(人)	2,785 (令和2年度)	3,500 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
スマート	キャッシュレスに対応した機器導入数(個)	0 (令和7年度)	3 (令和11年度)	長瀬町役場内の機器導入数
レジリエント	町道路舗装率(%)	41.3 (令和2年度)	44.5 (令和8年度)	はつらつ長瀬プラン
レジリエント	災害時における非常電源機器入替数(累計:機) (基準値時点の機器数は計6機)	0 (令和7年度)	6 (令和12年度)	長瀬町内の機器入替数